

「メタバース空間」での交通安全研修

技術課題：交通事故の臨場感ある疑似体験による交通安全の向上
募集内容：交通環境をメタバース空間で再現し、事故場면을疑似体験する交通安全研修システムの開発パートナー

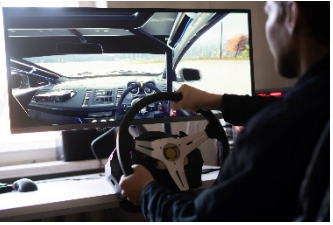
開発ステップ

【リアル運転研修の限界】

- 危険状況の再現が困難
- 同乗が必須



- ① 遠隔ビデオ診断研修
- 実車運転を5G技術でリアルタイム指導



- ② VRドライビングシミュレーター指導
- 仮想運転をリアルタイム指導
 - リアルでは困難な危険状況(事故)の再現/仮想体験で、高い学習効果

【研修における顧客満足】

- 研修効果(交通安全)の向上
- 受講場所フリー (ニューノーマル)

募集内容



③ メタバース研修

- 仮想運転を集団でリアルタイム共有
- 多角的な議論とフィードバックで、高い学習効果

技術課題

■ 技術課題

- ・交通事故の状況を疑似体験(モニター上ではなく)
- ・様々な立場(運転者だけではなく、歩行者や自転車)での事故体験

■ 保有技術

- ・大阪ガス株のガス供給エリア内での様々事故データ

ソリューション例

■ 体験と振り返り(議論)によるメタバース空間での交通安全研修

- ・事故体験の映像や、ドラレコの危険映像を用いたVR危険運転研修
- ・受講生が班に分かれて議論し、発表する討議型研修